



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月19日

上場会社名 **光世証券株式会社** 上場取引所 東証一部
 コード番号 8 6 1 7 (URL <http://www.kosei.co.jp/>)
 代表者 取締役社長 巽 大介
 問合せ先責任者 管理グループ 部長代理 谷村 和晃 TEL (06)6209-0820
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当金支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 有・ 無
 四半期決算説明会開催の有無 有・ 無

(百万円未満切捨て)

1.2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1)経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	851	483.0	836	491.0	353	—	384	—
2020年3月期第2四半期	146	△56.6	141	△57.3	△312	—	△275	—

	四半期純利益		1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
2021年3月期第2四半期	318	—	33	71	—	—
2020年3月期第2四半期	△274	—	△29	13	—	—

(2)財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2021年3月期第2四半期	22,280		16,917		75.8	1,787 04
2020年3月期	20,964		16,388		78.1	1,731 07

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 16,896百万円 2020年3月期 16,367百万円

2.配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	7 00	7 00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・ 無

2021年3月期の配当予想額は未定であります。

3.2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

当社の主たる事業である金融商品取引業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、この事業の特性に鑑み通常の業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であるため、業績予想を開示しておりません。

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・

② ①以外の会計方針の変更 : 有・

③ 会計上の見積りの変更 : 有・

④ 修正再表示 : 有・

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,486,400株	2020年3月期	9,486,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	31,513株	2020年3月期	31,233株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,455,038株	2020年3月期2Q	9,430,989株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、「3.2021年3月期の業績予想」に記載の通り、通常の業績を適正に予想することが困難であるため、現時点において配当予想額は未定であります。

添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する定性的情報	2
(2)財政状態に関する定性的情報	2
(3)業績予想に関する定性的情報	3
2.サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.四半期財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期貸借対照表	4
(2)四半期損益計算書	6
(3)四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4)継続企業の前提に関する注記	8
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
2021年3月期 第2四半期概況参考資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当上半期の国内株式市場は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による前年度末の急落相場から一転反発した後、総じてリスク選好的な動きが続きました。世界的にコロナ感染拡大の懸念が依然として残るものの、欧米諸国における経済再開の動きや経済正常化への期待、各国の積極的な財政・金融政策などから先進国の株式市場が堅調に推移したこと、日本においても5月下旬に緊急事態宣言が解除されたことなどを背景に、国内の株式相場は急上昇し、株価水準は急落前の近辺まで回復するものとなりました。

この期間の日経平均株価は、期初の1万8千円台から上昇、6月上旬に2万3千円台に乗せた後、2万2千円を割る局面があったものの、9月にかけて2万3千円台に再び戻す動きとなりました。

このような市場環境のなかで、当社は新型コロナウイルスの感染拡大の影響対策として、リモートワーク機能を推進しながら、根幹の証券業務が適切に行われる態勢を整備した上で、金融商品・金融サービスの提供、市場での自己取引を行ないました。

コンサルティング部門では、「お客様本位の業務運営に係る方針」の下、ウィズコロナの状況も踏まえ、各種顧客向けセミナーや投資アドバイスをウェブ形式でも提供する一方、7月には大阪取引所へ移管された金先物の取扱いを開始いたしました。当期は、顧客の投資マインドが回復したこと、また個人投資家の間でデリバティブ取引の需要が顕在化、新規の口座開設が増加したことなどから、受入手数料は前年に比べて増加し1億22百万円(前年同期比176.6%)となりました。

自己売買部門では、リスク管理を徹底した取引を行い、通常のディーリング損益は好調なものとなり、一方で、保有有価証券も評価益を計上、当期のトレーディング損益は復調して、6億33百万円の利益(前年同期は49百万円の損失)となりました。

金融収益は、前期に比べて減少して53百万円(前年同期比64.3%)となり、販売費・一般管理費は4億83百万円(同106.5%)となりました。

その結果、当四半期の営業収益は8億51百万円の利益(同583.0%)、経常利益は3億84百万円(前年同期は2億75百万円の損失)、最終利益は3億18百万円(同2億74百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末の総資産合計は、前事業年度末に比べ13億15百万円増加し222億80百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ9億90百万円増加し146億32百万円となりました。その主な要因は、信用取引資産が増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ3億24百万円増加し76億48百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券の評価差額金の洗替えにより増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ7億87百万円増加し53億62百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ6億56百万円増加し46億38百万円となりました。その主な要因は、信用取引負債が増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1億29百万円増加し7億20百万円となりました。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末に比べ5億28百万円増加し169億17百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.8%(前期末78.1%)となりました。また、当四半期末発行済株式総数にもとづく1株当たり純資産は1,787円04銭(前期末1,731円07銭)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ4億 11 百万円増加し、75 億 68 百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間の営業活動により資金は、4億 44 百万円増加(前第2四半期累計期間は4億 76 百万円の増加)しました。これは、信用取引負債が5億 36 百万円増加したこと等の結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間の投資活動により資金は、34 百万円増加(前第2四半期累計期間は2億3百万円の減少)しました。これは、投資事業有限責任組合からの分配の収入が 34 百万円あったこと等の結果であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間の財務活動により資金は、66 百万円減少(前第2四半期累計期間は1億 32 百万円の減少)しました。これは、配当金の支払による支出が 66 百万円あったこと等の結果であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社の主たる事業である金融商品取引業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、通常の業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。このような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与えるおそれがあるため、業績予想を開示しておりません。

(今後の見通し)

今般のコロナ禍の影響は一過性のもと考えておりますが、この先、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって内外経済がさらに下振れするリスクに備えた対策をとることは必要であり、経済情勢が厳しい状況になった場合には、証券業は金融資本市場の変動の影響を受けやすい業態の性格上、経営成績に影響が出る可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	7,157	7,568
預託金	3,434	3,313
トレーディング商品	1,416	1,761
商品有価証券等	1,282	1,738
デリバティブ取引	134	22
約定見返勘定	66	-
信用取引資産	1,219	1,643
信用取引貸付金	347	1,027
信用取引借証券担保金	871	615
有価証券担保貸付金	7	7
借入有価証券担保金	7	7
立替金	0	1
短期貸付金	1	0
前払金	0	0
前払費用	17	38
未収入金	0	2
未収還付法人税等	12	-
未収収益	11	13
短期差入保証金	296	282
流動資産計	13,641	14,632
固定資産		
有形固定資産	4,130	4,101
建物	1,335	1,311
器具備品	29	23
土地	2,766	2,766
無形固定資産	27	21
ソフトウェア	26	20
電話加入権	0	0
その他	1	1
投資その他の資産	3,164	3,525
投資有価証券	2,748	3,112
関係会社株式	7	7
長期立替金	87	87
その他	556	553
貸倒引当金	△235	△235
固定資産計	7,323	7,648
資産合計	20,964	22,280

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	470	243
商品有価証券等	365	221
デリバティブ取引	105	21
約定見返勘定	-	54
信用取引負債	77	613
信用取引借入金	40	559
信用取引貸証券受入金	36	54
受取差金勘定	6	4
預り金	2,144	2,009
顧客からの預り金	2,118	1,952
その他の預り金	26	57
受入保証金	1,152	1,547
未払金	8	10
未払費用	58	34
未払法人税等	50	107
賞与引当金	13	14
流動負債計	3,982	4,638
固定負債		
繰延税金負債	172	294
退職給付引当金	60	59
役員退職慰労引当金	353	361
その他の固定負債	4	4
固定負債計	590	720
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	2	3
特別法上の準備金計	2	3
負債合計	4,575	5,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,000	12,000
資本剰余金		
資本準備金	3,000	3,000
その他資本剰余金	1,106	947
資本剰余金合計	4,106	3,947
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△92	318
利益剰余金合計	△92	318
自己株式	△37	△38
株主資本合計	15,976	16,228
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	391	667
評価・換算差額等合計	391	667
新株予約権	21	21
純資産合計	16,388	16,917
負債・純資産合計	20,964	22,280

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業収益		
受入手数料	69	122
委託手数料	60	112
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	0	0
その他の受入手数料	8	9
トレーディング損益	△49	633
金融収益	82	53
その他の営業収益	43	42
営業収益計	146	851
金融費用	4	14
純営業収益	141	836
販売費・一般管理費		
取引関係費	39	36
人件費	212	229
不動産関係費	66	73
事務費	5	9
減価償却費	36	35
租税公課	72	79
その他	20	19
販売費・一般管理費計	453	483
営業利益又は営業損失(△)	△312	353
営業外収益	39	32
営業外費用	2	0
経常利益又は経常損失(△)	△275	384
特別利益		
固定資産売却益	2	-
金融商品取引責任準備金戻入	0	-
新株予約権戻入益	0	-
特別利益計	2	-
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	-	1
特別損失計	-	1
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△273	383
法人税、住民税及び事業税	1	64
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△274	318

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△273	383
減価償却費	36	35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7	8
金融商品取引責任準備金の増減額 (△は減少)	△0	1
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	-
受取利息及び受取配当金	△26	△22
預託金の増減額 (△は増加)	△190	121
預り金及び受入保証金の増減額 (△は減少)	1,175	259
約定見返勘定の増減	353	120
トレーディング商品 (資産) の増減額 (△は増加)	△919	△344
トレーディング商品 (負債) の増減額 (△は減少)	△138	△227
信用取引資産の増減額 (△は増加)	323	△423
信用取引負債の増減額 (△は減少)	115	536
短期差入保証金の増減額 (△は増加)	13	13
有価証券担保貸付金の増減額 (△は増加)	0	-
その他	△53	△43
小計	403	419
利息及び配当金の受取額	26	22
法人税等の還付額	54	12
法人税等の支払額	△7	△9
営業活動によるキャッシュ・フロー	476	444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13	-
投資有価証券の取得による支出	△256	△1
投資事業有限責任組合からの分配による収入	65	34
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203	34
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△132	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132	△66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	141	411
現金及び現金同等物の期首残高	6,610	7,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,751	7,568

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2021年3月期 第2四半期概況参考資料

1.手数料収入

(1)科目別内訳

(単位:百万円)

	当第2四半期		前期(2/4)比	前年同期	
	(2020.4.1 2020.9.30)	前期 (2019.4.1 2020.3.31)		(2019.4.1 2019.9.30)	前年同期比
			%		%
委託手数料	112	135	166.6	60	187.1
(株券)	(89)	(122)	(146.4)	(57)	(156.7)
(債券)	(0)	(1)	(124.4)	(0)	(252.6)
(その他)	(22)	(11)	(388.2)	(2)	(816.3)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	0	0	16.9	0	10.0
その他の受入手数料	9	14	130.7	8	114.3
合計	122	151	162.3	69	176.6

(2)商品別内訳

(単位:百万円)

	当第2四半期		前期(2/4)比	前年同期	
	(2020.4.1 2020.9.30)	前期 (2019.4.1 2020.3.31)		(2019.4.1 2019.9.30)	前年同期比
			%		%
株券	91	125	145.5	58	155.0
債券	0	1	108.1	0	188.3
その他	30	23	254.9	9	303.8
合計	122	151	162.3	69	176.6

2.トレーディング損益

(単位:百万円)

	当第2四半期		前期(2/4)比	前年同期	
	(2020.4.1 2020.9.30)	前期 (2019.4.1 2020.3.31)		(2019.4.1 2019.9.30)	前年同期比
			%		%
株券等	631	263	480.0	△49	—
債券等・その他	2	1	247.4	△0	—
(債券等)	(2)	(1)	(251.4)	(△0)	(—)
(その他)	(—)	(0)	(—)	(—)	(—)
合計	633	264	478.1	△49	—

3.株式売買高

(単位:百万株、百万円)

	当第2四半期 〔2020.4.1〕 〔2020.9.30〕		前 期 〔2019.4.1〕 〔2020.3.31〕		前期(2/4)比		前年同期 〔2019.4.1〕 〔2019.9.30〕	
	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	金 額
合 計	65	34,283	97	53,416	133.4%	128.4%	43	23,570
(委 託)	(53)	(29,418)	(49)	(26,470)	(217.1%)	(222.3%)	(33)	(12,641)
(自 己)	(11)	(4,864)	(47)	(26,946)	(46.8%)	(36.1%)	(9)	(10,929)
委 託 比 率	82.8%	85.8%	50.9%	49.6%			78.4%	53.6%
東 証 シ ェ ア	0.03%	0.04%	0.02%	0.02%			0.02%	0.02%

4.引受・募集・売出しの取扱高

(単位:百万株、百万円)

		当第2四半期 〔2020.4.1〕 〔2020.9.30〕	前 期 〔2019.4.1〕 〔2020.3.31〕	前期(2/4)比	前年同期 〔2019.4.1〕 〔2019.9.30〕
引受高	株 券 (株 数)	—	—	— %	—
	" (金 額)	—	—	—	—
	債 券 (額 面 金 額)	300	200	300.0	100
	受 益 証 券 (金 額)	—	—	—	—
	コマーシャルペーパー 及び外国証券 (額 面 金 額)	—	—	—	—
募 集・売 出 高 ※	株 券 (株 数)	0	0	200.0	—
	" (金 額)	0	0	320.0	—
	債 券 (額 面 金 額)	—	40	—	—
	受 益 証 券 (金 額)	14	69	42.0	59
	コマーシャルペーパー 及び外国証券 (額 面 金 額)	—	—	—	—

※売出高および私募の取扱高を含んでおります。

5.自己資本規制比率

(単位:百万円)

	当第2四半期 〔2020.9.30〕	前 期 〔2020.3.31〕	前年同期 〔2019.9.30〕
固定化されていない自己資本の額 (A)	10,654	9,715	9,729
リスク相当額 (B)	864	753	815
市場リスク相当額	614	521	575
取引先リスク相当額	26	12	12
基礎的リスク相当額	223	218	228
自己資本規制比率 (A)/(B)×100%	1,231.8 %	1,289.5 %	1,192.4 %

(参考)

(単位:百万円)

	前第2四半期 2019.7.1 2019.9.30	前第3四半期 2019.10.1 2019.12.31	前第4四半期 2020.1.1 2020.3.31	当第1四半期 2020.4.1 2020.6.30	当第2四半期 2020.7.1 2020.9.30
営業収益	153	321	171	526	325
受入手数料	32	43	38	68	53
トレーディング損益	52	210	103	407	226
金融収益	46	46	7	29	23
その他の営業収益	21	21	22	21	21
金融費用	2	2	3	5	9
純営業収益	150	318	167	520	316
販売費・一般管理費	229	236	257	248	234
取引関係費	17	20	18	18	18
人件費	109	110	136	119	109
不動産関係費	34	36	37	39	34
事務費	1	3	2	3	5
減価償却費	18	19	18	17	17
租税公課	35	37	36	40	38
その他	12	7	8	7	11
営業利益(△損失)	△79	82	△90	272	81
営業外収益	10	109	7	22	9
営業外費用	△2	△1	2	0	0
経常利益(△損失)	△66	192	△85	294	89
特別利益	2	0	△0	—	—
特別損失	—	—	—	1	0
税引前四半期純利益(△損失)	△64	193	△85	293	89
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	42	22
四半期純利益(△損失)	△64	192	△86	251	66